

形名	LEDD85031Y
対象機種	高気密・断熱施工用ダウンライト(SG1形) 適合断熱工法 マット敷き工法
適合ランプ(別売)	LEDユニット フラット形(GX53口金) LDF7(非調光タイプ) 6.9Wタイプまで
推奨ランプ(別売)	LEDユニット フラット形(GX53口金) LDF4L-HGX/C7/5/2
埋込穴寸法 / 天井厚さ	Φ125±2mm / 5mm以上25mm未満

このたびは東芝LED照明器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

工事店様へ

施工上のご注意

- 照明機器の電気工事は、主任電気工事士の管理が義務付けられています。
- 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。



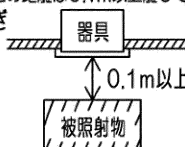
警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 電源線接続の際は、本取扱説明書の「■器具の取り付けかた」に従って行ってください。曲がった電線や、ねじって挿入すると接続が不完全となり、発熱、火災の原因になります。
- この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井、壁面には、取り付けしないでください。指定以外の取付けを行うと器具落下の原因となります。
- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。
- この器具は照明制御システム(MESLなど)、調光器との組み合わせはできません。破損、発煙、短寿命、ちらつきの原因となります。

- 器具を分解、改造したり、部品を変更して使用することは絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。
- 器具の取り付けは、質量の耐える所に、「器具の取り付け方」に従って行ってください。
- 取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。
- 指定の適合ランプ以外を組み合わせると、ちらつき、発熱、発火の原因となります。
- この器具の送りは、7台まで接続できます。(但し、適合ランプLEDユニットフラット形6.9W以下使用器具のみ) それ以外を接続しますと、感電、発熱、火災の原因となります。

- この器具は屋内用です。軒下および湿気の多い場所では使用しないでください。絶縁不良、感電等の原因となります。
- 器具と被照射物(ドアや家具など)との距離は0.1m以上離して使用してください。指定よりも近すぎると被照射物(ドアや家具など)の変色、変形、火災の原因となります。
- 次のような場所には取り付けしないでください。
 - ・振動や衝撃のある場所、粉塵の発生、滞留する場所(工場やトンネル内にある駅ホーム等)
 - ・公衆浴場・温泉地・サウナ・プールなどの腐食性蒸気・臭気・腐食性ガス、溶液の発散する場所やオイルミストが発生する場所



■この器具はマット敷き工法専用器具です。

- この器具は(一社)日本照明器具工業会、断熱施工SG1形ダウンライト適合品です。
- フローリング工法で施工される天井には、使用できません。これを無視して施工した場合には、発熱、火災の原因となります。
- マット敷き工法<住宅用人工鉱物繊維断熱材(JIS A 9521 熱抵抗値: 6.6㎡・K/W以下)のロールタイプまたは、パットタイプを天井に敷き込み工法>で断熱施工された天井に取付けることができます。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- この器具は屋内専用で、5℃～35℃の範囲で使用してください。高温で使用しますと火災、ランプ短寿命の原因となります。
- 器具を密閉した空間に設置しないでください。ランプ短寿命の原因となります。
- 器具に表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外の電圧でご使用しないでください。間違えて使用しますとランプ、器具などの短寿命、火災の原因となります。(器具の定格電圧と電源電圧は器具を取り付ける前に必ず確認してください。)
- 決められた台数以上の器具を接続しないでください。

お客様へ

使用上のご注意

- お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま交換を行うと感電の原因となります。
- ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因になります。
- 器具の隙間、放熱穴やスイッチの隙間などに針金、金属物などを差し込まないでください。スイッチの破損によるけが、感電、火災の原因となります。
- ランプ交換の際は、必ず本体表示ならびに取扱説明書とおりの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。



注意

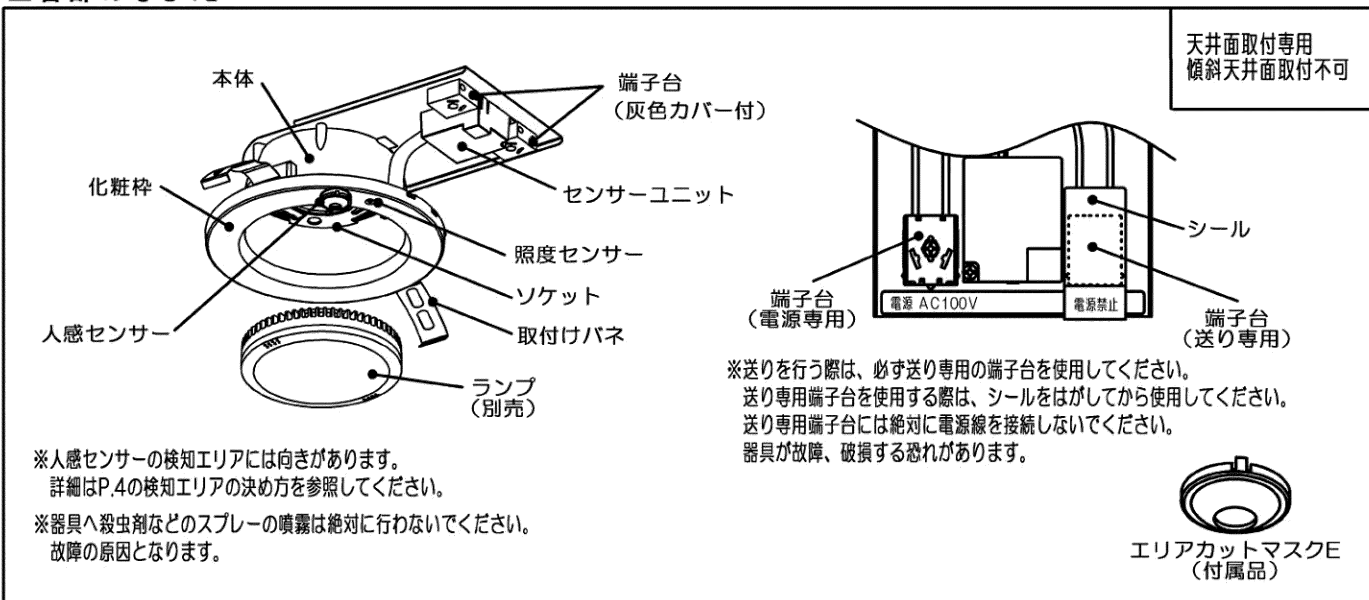
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 安全上、LED光源を直視しないでください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。
 - ※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 照射距離が近い場合や照射面等によって光ムラが発生することがありますがご了承ください。
- LED光源にはバツキがあるため、同一形商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 異常の場合は、電源を切って販売店に連絡してください。
- 年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および3年に1回は工事店等の専門家による点検を実施してください。(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。)
- 点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

■お手入れについて

- 器具を水洗いしないでください。感電、故障の原因となります。
- 金属部分をクレンザーや、たわしでみがかないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。
- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水または中性洗剤1～2%水溶液に浸したやわらかい布をよく絞ってからふいてください。
- アルカリ、弱酸性、塩素系洗剤、アルコールでふかないでください。部品の変色・劣化や感電の原因となります。
- 洗剤・薬品などでふいたり殺虫剤をかけたりしないでください。器具の破損、落下、感電などの原因となります。

■各部のなまえ

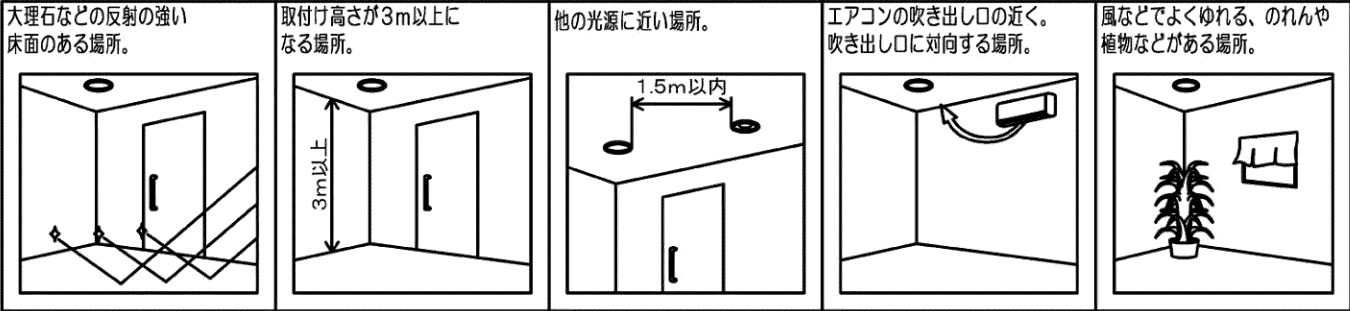


■器具の取り付けかた

1 器具の埋込穴 - 天井に埋込穴 (φ125±2mm) をあけてください。 - 取付け前に器具質量 (0.5kg) や操作に十分耐えるよう取り付け部の強度を確認してください。 ※薄い天井、傾斜天井、ロックウールなどの柔らかい天井、壁面には取り付けしないでください。 ※取り付け可能天井厚は、5mm~25mmです。 ※埋込穴をあける際は専用工具を用いてあげてください。 (注) 取り付けに不備があると器具落下の原因となります。	4 配線方法 器具本体に電源線を接触させないでください。 感電、火災の原因となります。 (図4)
2 取付けパネの取付け方法 本体のパネ取り付け部 (2ヶ所) に (図1) のようにパネを差し込み、「カチッ」と音がして確実にパネが取り付けられていることを確認してください。 ※パネ取り付けに不備があると器具落下の原因となります。 パネ取り付け部 パネを差し込む カチッ 取付けパネ (図1)	5 本体天井取付方法 (注) 取り付けに不備があると落下の原因となります。 - 取り付けパネ (2ヶ所) を内側へ押さえ付けてください。 - 本体を埋込穴に、端子台が通るように斜めに挿入してください。(図5) - 本体をまっすぐにゆっくりと押し上げ、確実に取り付けてください。 ※取り付け後、天井面と本体に隙間が発生した場合は、再度断熱材を押上げ器具を再挿入してください。 - 器具が隙間なく確実に取り付けられていることを確認してください。 (注) 器具を天井から取りはずす際には、ゆっくり器具を引き下げ、取り付けパネを、押さえ付けながら取りはずしてください。 無理に引き下げようとすると天井材破損の恐れがあります。 端子台 天井 (図5)
3 電源線の接続 - 電源線の被覆を (図2) のようにストリップしてください。 ※棒状端子を使用しないでください。 - 電源線を (図3) のように確実に端子台の奥まで差し込んでください。 端子台カバーは外さず上から突き破って電源線を端子台に接続してください。 ※端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじった状態で差し込まないでください。 感電、火災の原因となります。 ※センサー連動の送りに接続する適合ランプはLEDユニットフラット形6.9W以下使用器具7台まで可能です。 - 器具本体に電源線を接触させないでください。 感電、火災の原因となります。(図4) - 電源線を引き抜く際は、必ず電源を切り、リリース穴にマイナスドライバーをまっすぐに差し込み、引抜いて下さい。 ※絶対に電線を回転させて無理に引き抜かないでください。接触不良の原因となります。 電源線 絶縁体 芯線 12±1mm (図2) (適合電線: φ1.6, 2.0φCu単線) リリース穴 電源線差し込み穴 電源線 端子台 ストリップゲージ (図3)	6 ランプ (別売) の取付け方法 - ソケットの端子部とランプのピンの位置を合わせるようにランプを押し上げます。(図6) - ソケット端子部にランプのピンが入ったら、カチッと節度のあるところまで時計回りにランプを回してください。 ソケット 端子部 ピン (図6)

■器具を取り付ける前に

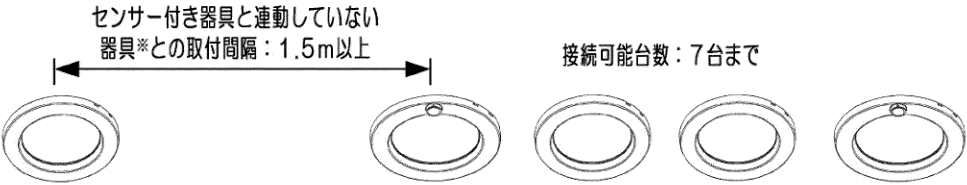
- 器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討のうえ決定してください。
- 1. 1つの壁スイッチ（表示灯付・タッチレススイッチを除く）でダウンライト8台※までご使用いただけます。
※センサー有無に関わらず、LEDユニットフラット形（6.9W以下）ダウンライトが対象です。
点灯モードにバラツキが発生した場合は壁スイッチを1度OFFにし、2秒以上たってからONにしてください。なお、点灯照度設定、点灯時間はすべて同一に設定してください。
 - 2. 調光器との組み合わせではご使用になれません。
 - 3. 検知エリアが以下のような場所では検知できなかったり、誤動作や故障の原因となります。
 - 4. 人感センサー付き器具と連動していない器具が近傍にある場合は、1. 5m以上離してください。



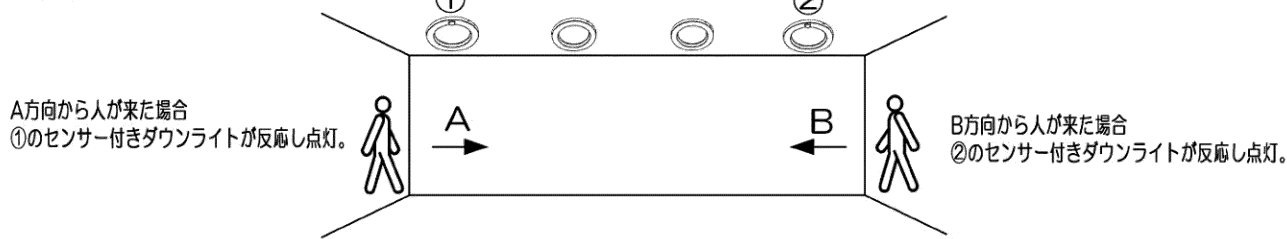
検知エリア内に障害がある場所への設置はお避けください。

■センサー付きダウンライトを複数台接続する場合

- LEDD85031Yの送り端子台は連動用のみです。電源の送り端子はありません。
- 調光ランプはご使用できません。
- 接続可能台数: センサー有無に関わらず7台※まで。 ※センサー有無に関わらず
- 連動可能負荷: LEDユニットフラット形6.9W以下使用器具以外の連動はできません。
また、調光ランプを使用するとソフトスタートになり、同時点灯はしません。
- センサー付きダウンライトと連動していない器具※は1. 5m以上離して取り付けてください。

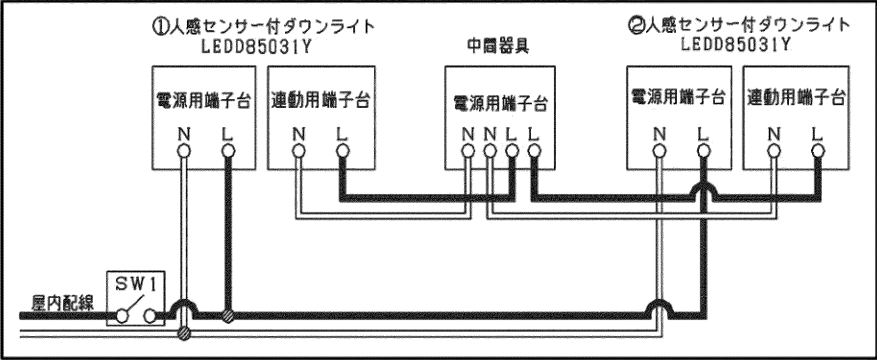


〈使用例〉



〈配線図〉

- センサー付ダウンライトを複数台接続する場合は下図のように接続をしてください。
- ※壁スイッチは3路スイッチでもご使用になれます。（センサーは電源供給時に動作）



警告

必ず電源側および負荷側の配線の極性を合わせてください。
不備があると感電火災の原因となります。

〈動作について〉

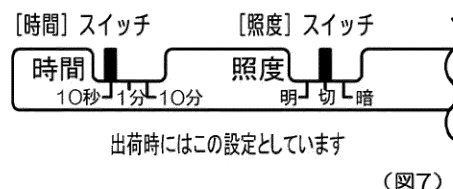
- 連続点灯モード
 - ・壁スイッチを1度OFFさせて、約1秒後にONにする。
- | スイッチ | スイッチ動作 | 連続点灯モード |
|------|--------------|---------|
| ON | スイッチ1をOFF→ON | ○ |

注) 連続点灯を解除する場合は、電源をOFFにして、5秒以上たってからONにする。

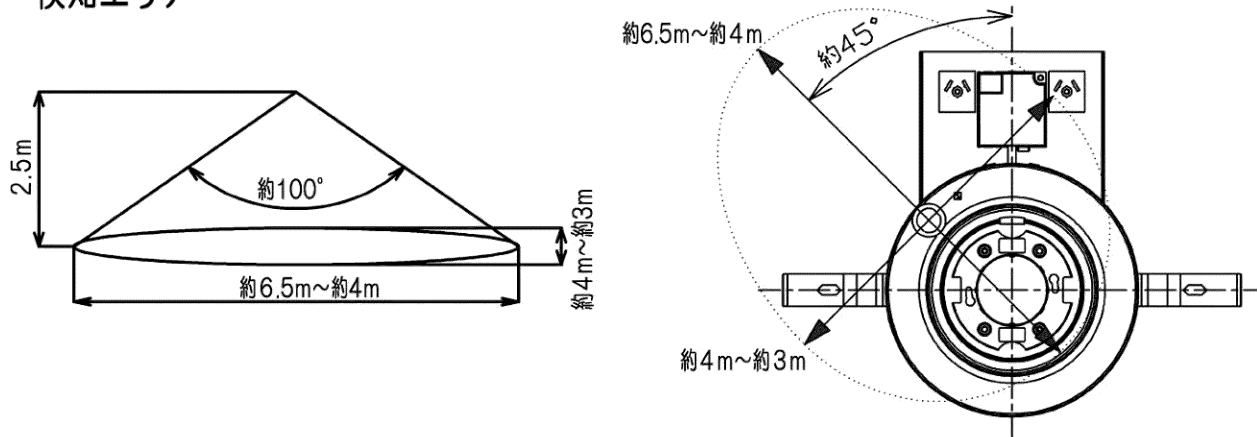
■ 検知エリアの決め方

周囲が明るい時でも、人を検知するたびに点灯します。検知エリアを確認、調整を行ってください。
検知エリアを決定するには化粧枠の側面にあるスイッチを以下に設定すると便利です。

1. [時間] スイッチを「10秒」に、[照度スイッチ] を「切」に合わせる。(図7)
2. 壁スイッチを「オン」にする。
「オン」にすると約1分間全光点灯します。その後5秒間消灯してからセンサーが動作します。動作中に化粧枠側面のスイッチを切り替えると約10秒間消灯してから設定状態で動作します。(連続点灯モードは除く)
検知エリアを狭くしたい場合には、エリアカットマスクEを取付けて検知範囲を調整してください。(図8)

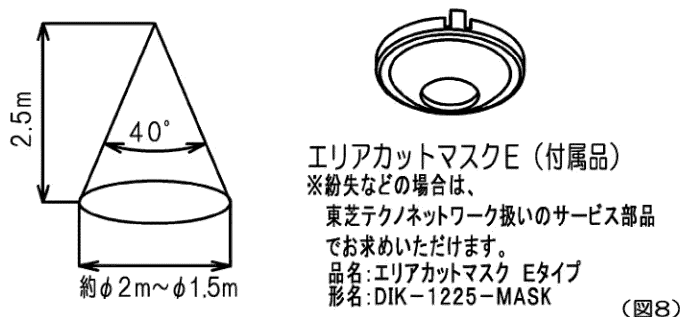


検知エリア

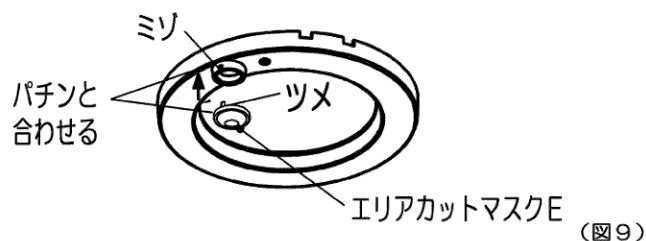


※人感センサーは固定式で可動しません。
向きがありますので上図を参照し、
長手側(約6.5～約4m)と短手側(約4～約3m)
を調整してください。

エリアカットマスクE使用時



- エリアカットマスクEの取り付けかた
エリアカットマスクEの2本のツメとセンサー感知部のミソに合わせ、はめ込んでください。(図9)



(ご注意) 検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
(特に寒冷地などで、手袋、コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。)

■センサー機能について

- 人感センサースイッチの切り替えスイッチを組み合わせることにより、いろいろなモードに設定できます。
- 壁スイッチの操作で連続点灯（8時間）させることができます。

人*：人などの熱源を表します。

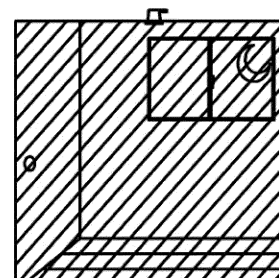
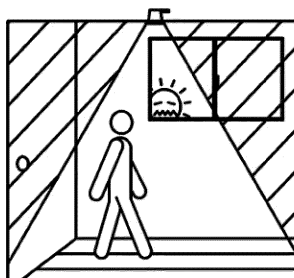
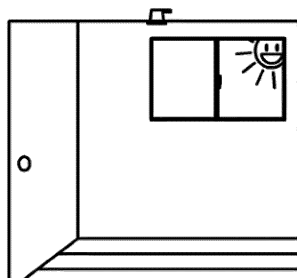
●人感センサーモード

人*を感知したときだけ点灯させたい

日中、夜間を問わず、消灯

周囲が明るくても、人*が近づくと100%の明るさで点灯

人*がいなくなると設定時間で消灯

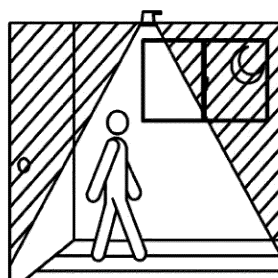
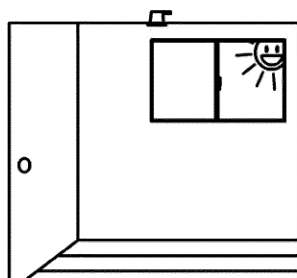


●ON/OFFモード

暗くなってから、人*を検知した時だけ点灯させたい

日中、夜間を問わず、消灯

周囲が暗くなってから人*が近づくと100%の明るさで点灯

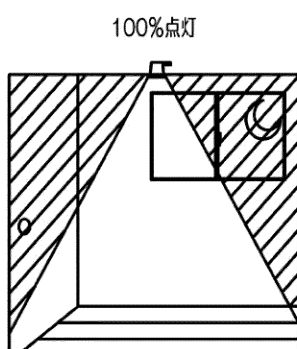


夕方や夜などになってから人*を検知して点灯させたいときに使用します。

●連続点灯

周りに関係なく点灯させたい

壁スイッチを操作して連続点灯（8時間）させることができます。



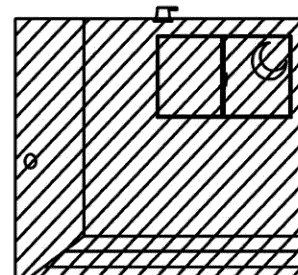
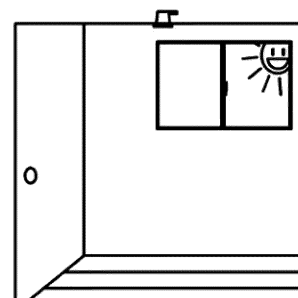
8時間後、設定されたモードに戻る

明るい時

どのモードでも日中は消灯

暗い時

ON/OFFモードに設定しているとき



※連続点灯モード中に壁スイッチ操作（約1秒以内のON/OFF）を行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯となります。

※壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切り替えることができません。

周囲が明るいときは、人感センサーは検知しません。消灯で待機します。

■ 設定方法

- 壁スイッチをONにすると、約1分間全光点灯します。その後約5秒間消灯してからセンサーが動作します。
- 使用中に切替スイッチを切り替えると、約10秒間消灯してから設定状態で動作します。(連続点灯モードは除く)

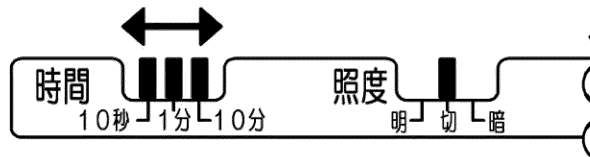
● 人感センサーモード

スイッチ設定は以下のとおりです。

〔時間〕 スイッチ：10秒 1分 10分 (設定位置はどこでも可)

〔照度〕 スイッチ：切

時間スイッチは人を検知してからの点灯時間となります。
点灯時間をお選びいただけます。



● ON/OFFモード

スイッチ設定は以下のとおりです。

〔時間〕 スイッチ：10秒 1分 10分 (設定位置はどこでも可)

〔照度〕 スイッチ：明, 暗 (設定位置はどちらか)

照度スイッチを「明」あるいは「暗」に設定してください。

周囲の明るさに応じて人感センサーを動作させます。

「明」：約45～120ルクス以下になると待機状態になります。

たとえば、夕方など周囲が薄暗くなってから人を検知して点灯させたいとき。

「暗」：約15～60ルクス以下になると待機状態になります。

たとえば、夜など暗くなってから人を検知して点灯させたいとき。

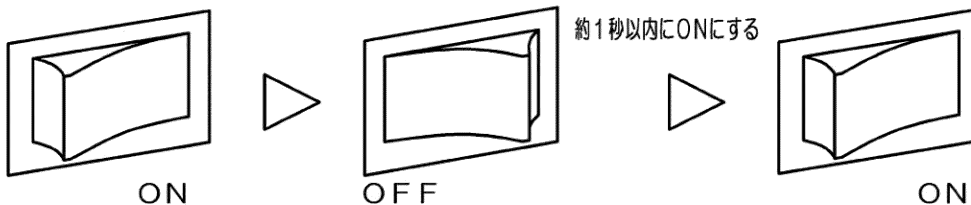


● 連続点灯

● 連続点灯設定方法

1. 壁スイッチを1度OFFさせて

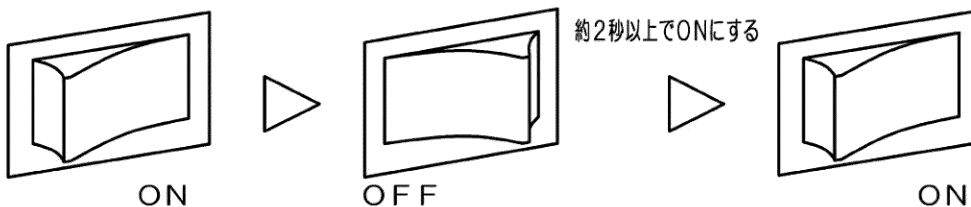
2. 約1秒以内にONにする



● 連続点灯設定解除方法

1. 壁スイッチを1度OFFさせて

2. 約2秒以上でONにする



壁スイッチをONにした直後は、約1分間100%点灯します。
約5秒間消灯したあと、センサー待機状態となります。

■故障かな？と思ったら

センサーの動作に不具合が生じたら下記を参照に点検を行ってください。

現象	考えられる原因	対処方法
周囲が暗くなっても点灯しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工務店等に依頼してください。)
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	「照度」スイッチが「切」になっている。	「照度」スイッチを「暗」または「明」に設定してください。
	センサーに周りの光が入っている。	光が入らないようにしてください。 ※3
	センサーが故障している。	器具を交換してください。(お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	センサー部に赤色の光が入っている。	照度センサーは赤色の光を検知しやすいため、人の目では周囲が暗いと判断されても赤色光を検知して明るいと判断され、動作(点灯)しない場合があります。 赤色光が入らない位置に設置するか、点灯照度設定を「明」にしてください。
人が近づいても点灯しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。(お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工務店等に依頼してください。)
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	厚手の服を着ている。傘をさしている。	熱量を感じ取る為コート等を着込んでいたり、傘をさしていると体温が検知されず反応しない場合があります。 ※1
	「照度」スイッチが明または暗になっていて、周囲が明るい	周囲があかるくても人感センサーにより、点灯させたい場合は「照度」スイッチを「切」にしてください。
	センサー表面に汚れが付着している。	水で固く絞ったやわらかな布で軽く人感センサー表面の汚れを落としてください。
	検知エリアに人が入っていない。	検知エリアの確認、調整を行ってください。
	照度感知に対し、周りが明るすぎる。	設定されたモードより暗くなると人感センサーが動作します。
	取り付け高さが3m以上になる場所に器具を取付けている。	器具設置場所を変更してください。
	他の光源に近い場所に器具に器具を取付けている。	器具設置場所を変更してください。
	人などの熱源が非常にゆっくりまたは非常にすばやく移動している。	人感センサーは非常にゆっくりまたは非常にすばやく移動に対して反応しない場合があります。
	連続点灯モードになっている。	センサーモードに戻してください。 P5
点灯したままで消灯しない。	電源の瞬時停止でセンサーが連続点灯モードになっている。	電源の瞬時停止があると、連続点灯モードになる場合があります。
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いて下さい。 ※1
	検知エリア内に、常にセンサーに反応するものがある。	検知エリアから反応するものを取り除いてください。 ※2
	検知エリアに木や水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合があります。	検知エリアの調整をしてください。 ※1
	検知エリアに動くものがある。	検知エリアから取り除いてください。
	センサーが故障している。	器具を交換してください。(お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	検知エリア内にペットなどの動物がいる。	ペットなどの動物にもセンサーは反応します。 ※1
人が近づかなくても点灯する。	周囲が結露している。	センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。 ※1
	検知エリア内に風などで動くものがあり、検知する場合があります。	検知エリアの調整をしてください。 ※1
	検知エリア内を車などが通る。	検知エリアの調整をしてください。 ※1
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。 ※1
	電源電圧の一時的で急激な変動があった。	※4
	センサーが故障している。	器具を交換してください。(お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	大理石など反射の強い床面のある場所に器具を取付けている。	器具設置場所を変更してください。
	エアコンの吹き出し口近くに器具を取付けている。	器具設置場所を変更してください。
	人感センサーの検知部が温度の変化により発生するノイズの影響を受けている	人感センサーの検知部は点灯、消灯などの温度変化により検知部に圧力が加わると検知信号を発信し、人を検知していても点灯する場合があります。
	設定スイッチを切り替えた直後である。	スイッチ切り替え時は約5秒間消灯します。 その後設定したモードとなるため、その後、検知のために約5秒間消灯となる場合があります。
ランプが一瞬消灯する、点灯しない。	適合ランプを使用していない。	適合ランプをご使用ください。
周囲が明るくなっても、消灯しない。	一瞬の明るさにより、反応して消灯してしまわないよう、設定照度以上の明るさが約4分間継続してからの消灯としています。 ※2、※3	消灯させたい場合は、照度スイッチを「切」としてください。 その場合、周囲の明るさに関係なく、人を検知すると点灯します。
周囲が明るくても、人に反応し点灯する	周囲が明るくなっていくときに、一瞬暗くなった。	人感センサーは周囲が明るくなり日中と認識するのに約1時間かかります。 この1時間の間は、動作が不安定になり人を検知して点灯する場合がありますが、周囲が十分に明るくなれば人を検知しなくなり、正常に動作します。
	センサー部に蛍光灯やLEDの光が入っている。	照度センサーは蛍光灯やLEDなど点滅している光を検知しにくい場合があります、人の目では明るいと判断されても、照度センサーが暗いと判断してしまう場合があります。 蛍光灯やLEDの光が入らない位置に取り付けてください。
点灯・消灯を繰り返す	検知面に他器具の光が当たっている。 また、壁や反射物に反射して自光に反応している。	他器具と距離を離して設置してください。 反射物に反応しないよう設置を考慮してください。

■故障かな？と思ったら(つづき)

現象	考えられる原因	対処方法
検知エリアに人がいるのにランプが消える。	ランプが切れた。	壁スイッチ(電源)をOFFにしてからランプを交換してください。
	検知エリア内で動かなくなった。	検知エリア内に人がいても、動きがない場合には、センサーが検知しないためランプが消えます。 動くセンサーが検知しランプが点灯します。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工務店等に依頼してください。)
	センサーの電源を都度、入り切りしている。	電源ON直後はセンサー内のマイコンが調整を行ってしまいますので、1度ランプが点灯し消灯して待機状態となります。※3
明るさに関係なく人に反応し点灯する。	「照度」スイッチが「切」になっている。	ON/OFFモードとなっていますため、照度スイッチを「明」または「暗」として照度センサーモードとしてください。
明るさに関係なく点き放しになる。	誤った壁スイッチ動作や瞬間的な停電などで連続点灯モードになっている。	壁スイッチを2秒以上OFFにしてから再びONにしてください。 設定されているセンサーのモードに戻ります。
ランプが点滅する。 ※6	センサーの切替スイッチが設定されていない位置となっている。	切替スイッチの位置を変更してください。
	ランプの光を照度センサーが検知してしまっている。	器具設置場所を変更してください。※5

- ※1 人感センサーは赤外線検知方式となっています。
これは検知エリア内の熱変化(温度変化)を検知する方式です。
このため、検知エリア内でのペット等の動物の動きにも反応することがあります。
また、木や池等の水面が風等で動いた場合や、雨等の水滴がセンサー表面に付着した場合や、水滴がセンサー前面を動いても反応する事があります。
また、冬季に厚手の服を着ている場合、体温が服の内部に閉じ込められて、服の表面温度が外気と差が無いためにセンサーが反応しないことがあります。
同様に、夏季に周囲温度が高い場合に体温との温度差がないためにセンサーが反応しないことがあります。
- ※2 このセンサーは、照度センサーと人感センサーが複合しています。点灯は照度センサーが優先され、消灯は人感センサーが優先されます。
通常は周囲が暗くなり照度センサーが検知状態となってから人感センサーが検知状態となってから人感センサーが動作します。
人感センサーが検知して全光点灯状態のときは照度センサーは動作しません。
この機能のため、周囲が暗い状態で人感センサーが動作し、検知し続けることにより点灯を維持すると、周囲が明るくなってもランプは点灯したままです。
- ※3 照度センサーモードでは、周囲が暗い状態から明るい状態になった場合には、照度センサーが検知を開始し、約4分間の確認を行います。
周囲が明るい状態が約4分間継続されると照度センサーは周囲が明るい判断し、人感センサーは動作を停止します。
周囲が暗くなると再び照度センサーが動作し、人感センサーが動作を開始します。
- ※4 電源投入直後は約1分間ランプ点灯状態となりセンサー内のマイコン調整を行います。マイコン調整が終了するとセンサーは約5秒間消灯してからセンサー待機状態となります。
- ※5 反射が強い床面や壁面に取り付けると、ランプの光が反射して、照度センサーが明るくなったと検知して消灯し、消灯後暗くなったと検知して再び点灯するといった点滅状態となる場合があります。(点滅間隔は約5分)
この場合、ランプ照射部分が可動出来るものは、床面や壁面を照らさない方向に可動させてください。
その他の器具は、器具の設置位置を変更するか、床面や壁面が反射しないような設置が必要となります。
- ※6 電源投入時にランプが点滅する場合がありますが、故障ではありません。

■仕様

※適合ランプ、推奨ランプの仕様です。適合ランプ、推奨ランプの詳細については、商品図面をご覧ください。

※適合ランプ、推奨ランプの消費電力、入力電流については取り付ける器具によって異なる場合がありますが異常ではありません。

適合ランプ (GX53口金)	定格電源電圧[V]	定格周波数[Hz]	定格寿命[時間]	入力電流[A]	消費電力[W]
LDF7 (非調光タイプ) 6、9W	AC100	50/60	40,000	0.115	6.9
推奨ランプ (GX53口金)	定格電源電圧[V]	定格周波数[Hz]	定格寿命[時間]	入力電流[A]	消費電力[W]
LDF4L-HGX/C7/5/2	AC100	50/60	40,000	0.068	4.0

※照明器具の寿命とは異なります。「LEDモジュールが点灯しなくなるまでの総点灯時間、又は、全光束が、点灯初期に測定した値の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間」を推定したものです。
※調光ランプは使用できません。
※センサーの待機電力：約0.5W

■保証とアフターサービス

保証とアフターサービス

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規程をご確認ください。
修理を依頼されるときは『修理サービス規程』をご確認ください。

メーカー保証規程：https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm

修理サービス規程：https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm

ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または弊社ご相談センターにお問い合わせください。その際は商品の形名、お買い上げ時期、故障の状況などをお知らせください。



メーカー保証規程



修理サービス規程

保証について

- メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より(引き渡し日)3年間です。
但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、1年間です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※材料の終息等により、保有期間前に修理できない場合があります。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048

(通話料：無料)

携帯電話 046-862-2772 (通話料：有料)

FAX 0570-000-661 (通信料：有料)

ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。